

議会報告会（市民環境常任委員会）

委員会名	市民環境常任委員会
開催日時	令和6年（2024年）5月18日（土）午前10時30分から午前11時まで 令和6年（2024年）5月20日（月）午後7時30分から午後9時まで
開催場所	議会全員協議会室
出席議員	志田一宏（委員長）、児玉文彦（副委員長）、出田正道、くり林こうこう、竹田ゆかり、日向慎吾
報告内容	<p>（件名及び審査概要）</p> <p>本報告会のテーマは「災害時における避難と避難所～いざというときのために、今から一緒に考えてみませんか？～」です。</p> <p>今回は、このテーマに関連し令和6年2月定例会で当委員会に報告された「防災対策の取り組み状況と今後の方向性について」内容をご紹介します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 災害時広報事業については 防災行政用無線の補完対策として、令和4年度に引き続き防災ラジオの有償配付や、防災・安全情報提供システムの更新を行ったとのことで、今後も防災行政用無線の適切な運用を継続しつつ、新たな情報伝達手段の検討を行い、災害時の情報提供体制の充実を図っていくとのことです。2 災害対策本部機能強化事業については 地震防災時の初動対応のため、災害対策本部員を中心にした防災・危機管理対応図上訓練を実施したとのことで、今後も災害対策本部の機能充実を図り、初動対応に万全を期したとのことです。3 避難対策推進事業については 令和5年度は、材木座・由比ガ浜・小町地区への避難誘導標識設置に向けた作業を進め、今後も引き続けるほか、平易な表現を用いた「やさしいハザードマップ」や「ペット同行避難ガイドライン」の作成を進めるとのことです。 避難所の運営に関しては、引き続き備蓄品等の整備を進めるほか、帰宅困難者対策、避難行動要支援者対策の充実などに取り組んでいくとのことです。4 防災活動事業については これまでも自主防災組織の育成支援に取り組んできており 今後も更なる地域との連携により、自助・共助の意識醸成と地域防災力の向上を図っていくとのことです。 また令和5年9月1日に募集を開始した、市民向けの防災リーダーオンライン研修は令和6年1月12日に定員の500名に達したことから募集

を終了したとのことです。

5 その他の事業については

令和5年度に職員参集訓練や、海水浴場等津波避難訓練など、各種訓練等を実施したほか、各地域の自主防災組織での訓練の実施や、職員を派遣しての防災講話などを行ったとのことです。

委員会では、これらの報告について了承しました。

令和6年度予算では、災害時の避難対策を推進するために7,789万円の予算で引き続き、津波避難誘導標識の設置や備蓄品の整備を行うほか、材木座地区の津波避難路の整備、富士塚小学校に災害用の屋外備蓄倉庫を設置します。

以上で、市民環境常任委員会の報告を終わります。